



News letter

No. 89
February.2023

発行
国際公共経済学会事務局

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号 名古屋学院大学 伊藤昭浩研究室
TEL 052-678-4078(ダイヤルイン:2815) E-mail: office@ciriec.jp http://ciriec.com

今号の目次

1. 第11回春季大会のお知らせ
2. 「国際公共経済研究」第34号論文募集
3. 第37回研究大会、学会4賞報告
4. 事務局より

1. 第11回春季大会のお知らせ

1. 春季大会について

テーマ：「電気料金高騰への対応」

日程：2023年3月4日（土）

会場：兵庫県立会館（アクセス：<https://hyogo-arts.or.jp/kenmin/access/>）

開催実行委員長：草薙 真一（兵庫県立大学）

開催実行委員：落合 夏海（兵庫県立大学） 加藤 誠（長崎大学）

野村 宗訓（関西学院大学） 濱田 洋（兵庫県立大学） <五十音順>

【開催趣旨】

電力市場というものは多様な形態で存在しています。スポット市場、時間前市場、先渡市場、調整力市場、ベースロード市場、容量市場、非化石価値取引市場などがありますが、電力需給が逼迫する中で再生可能エネルギーの比率が高まるとともに、これらの市場において価格が高騰するために、リスクヘッジとしての電力先物取引のニーズが増大しています。日本で電力先物取引市場を扱っているのは EEX と東京商品取引所です。そのような電力先物取引市場は電力価格が非常に高騰する状況における優れたリスクヘッジ手法になっています。昨年も著名な新電力が破産したことなど、多くのニュースがありました。今後も企業破綻や事業撤退の話題は出てくるものと思われます。電力需要家の側も、電気の高騰を懸念して先物取引でリスクヘッジをしておこうという動きがあります。このシンポジウムではそのような内容にも注目したいと考えています。

大会プログラム（案）【最新のプログラムは学会 HP でご確認ください】

9：00	受付開始
9：30～11：00	修士論文賞報告
9：30～11：30	一般・若手(大学院生)報告
11：40～12：30	理事会・修士論文賞審査
13：10～15：40	<共催：兵庫県立大学政策科学研究所・関西学院大学産業研究所> シンポジウム（基調講演・パネルディスカッション） 「電気料金高騰への対応」
15：50～16：30	総会

2. 修士論文賞の募集

春季大会で本学会の「修士論文賞」の審査、表彰を行います。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください。

修士論文を 2022 年度提出予定の院生の方および 2020 年度、2021 年度に提出された院生に応募資格があります。応募者は学会員である必要はありませんが、学会員である指導教員の推薦が必要となります。対象者の方の応募を期待するとともに、修士論文を指導している学会員の先生方に、院生の応募を促していただきたいと存じます（推薦書様式は、下記 HP からダウンロードしてください）。

リンク先：<http://ciriec.com/?p=467>

優秀論文として 4 点を顕彰し、3 月の春季大会での報告を認めます。さらにその春季大会でのプレゼンテーション評価を加えて、最優秀論文 1 点を顕彰します。

- ・ 応募資格：上記の通り
- ・ 提出論文：本学会執筆要領による、修士論文および 12,000 字のフルペーパー（修士論文をまとめたもの）の Word ファイルと PDF ファイル（合計で 4 つのファイル）
- ・ 締め切り：2023 年 2 月 17 日(金)
- ・ 提出先：学会事務局 office@ciriec.jp
- ・ 審査発表：2023 年 3 月 1 日(水)

※事前論文審査の結果は、本人と指導教員に通知します。

- ・ 優秀論文報告および最優秀論文審査、発表：2023 年 3 月 4 日(土) 春季大会にて

3. 春季大会一般・若手報告の募集

春季大会の一般・若手報告を募ります。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください。

- ① 応募資格：本会会員の一般会員及び大学院生（修士・博士課程）
- ② 発表を希望する方は、（1）氏名・所属・連絡先（住所、電話、メールアドレス）（2）報告テーマ、（3）報告要旨（1,000字程度）を、2023年2月17日(金)までに、下記の学会事務局宛に電子メールでお送りください。書式は自由です。

宛先：学会事務局 office@ciriec.jp

フルペーパーの事前送付は必要ありません。学会誌への論文投稿希望者は、春季大会で発表すれば、学会誌への投稿が認められます。ただし、発表から投稿締切まで僅かな期間しかありません。発表時までに論文を作成しておくことをお勧めします。詳細は事務局にお問い合わせください。

2. 「国際公共経済研究」第34号論文募集

学会誌『国際公共経済研究』第34号（2023年9月発行予定）の投稿を募集します。査読論文、研究ノート、図書紹介、随筆等、広く募集しますので、奮ってご応募ください。

1. 査読付き論文

当学会では、学会の水準向上のために、査読制度（レフェリー制度）を設けています。査読を通った論文が学会誌に掲載されます。

- ① 提出論文：本会執筆要領による、12,000字の論文
- ② 締 切：2023年3月31日(金) 消印有効
- ③ 送 付 先：〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号
名古屋学院大学 商学部 伊藤昭浩研究室 国際公共経済学会事務局
または、メールにて 国際公共経済学会事務局（ office@ciriec.jp ）

※自由論題論文を投稿するには、毎年12月の研究大会、3月の春季大会、部会での報告が必須条件となります。

2. 研究ノート、図書紹介、随筆等

事前登録の必要は、ありません。

- ① 字 数：研究ノート12,000字程度、図書紹介1,500字程度（最大3,300字以内）随筆等適宜
- ② 締 切：2023年4月16日(日) 消印有効
- ③ 送 付 先：〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号
名古屋学院大学 商学部 伊藤昭浩研究室 国際公共経済学会事務局
または、メールにて 国際公共経済学会事務局（ office@ciriec.jp ）

※掲載にあたりましては、編集委員会が審査します。

3. 第 37 回研究大会、学会 4 賞報告

1. 第 37 回研究大会報告

2022 年 12 月 3 日（土）4 日（日）、国際公共経済学会 第 37 回研究大会がハイブリッド開催され（主催校：福山大学）、盛会のうちに終わりました。

2. 学会 4 賞の決定

〈学会賞〉応募者なし

〈尾上賞〉応募者なし

〈奨励賞〉

小菅 謙次（大阪公立大学大学院都市経営研究科博士後期課程）

「地域公共交通の課題解決のための自動運転システム導入の可能性

—経済的持続可能性の考察から—

伊藤 将人（一橋大学社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程）

「地方自治体による政策的移住促進の誕生と展開

—熊本県における U ターン政策とテクノポリス構想に着目して—

〈修士論文賞〉春季大会にて決定予定

4. 事務局より

1. 入退会員の紹介

①入会

学生会員 2 名（敬称略）

ZHANG QI （東京工業大学博士課程在学 1 年）

NIU XUERUI （東京工業大学博士後期課程博士 1 年）

正会員 11 名（敬称略）

黄 仙恵 情報経営イノベーション専門職大学

簡 逸威 京都情報大学院大学

亀山 泰夫 世界オタク研究所 主席研究員、iU 超客員教授

太田 智美 大阪音楽大学音楽学部音楽学科ミュージックビジネス専攻助教

翁 琬柔 キャロットファティリティ

石井 大貴 KIT 虎ノ門大学院 イノベーションマネジメント研究科

山口 真一 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

新志 有裕 弁護士ドットコム株式会社

辻 貴之 株式会社フジ・メディア・ホールディングス

安藤 良一 一般社団法人超人スポーツ協会ディレクター

大坪 太郎 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科附属メディアデザイン研究所

特別会員 1 法人（敬称略）

一般社団法人融合研究所

②退会（1社）（敬称略）

関西電力（株）

2. 年会費納入について

当学会は、2022年12月1日より新年度に入りました。つきましては、2023年度（2022年12月1日～2023年11月30日）の個人会費10,000円（大学院生は会費5,000円）を、御納入お願いいたします。会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

なお、学会DX化にむけて、これまで紙媒体で発行しておりましたニューズレターを、学会メーリングリストにてご送付（PDF形式）および学会Webページ掲載へと変更しております。これに伴い、ニューズレターに同封しておりました会費払込票の郵送も取りやめておりますので、払込票・領収書等が必要な方は事務局（office@ciriec.jp）までお知らせください。別途、郵送させていただきます。

【振込先口座】

振込先 : ゆうちょ銀行
口座記号番号 : 00800-7-216415
口座名称 : 国際公共経済学会

【他金融機関からのお振込】

店名（店番）：ゆうちょ銀行 ○八九店（089）
預金種目 : 当座
口座番号 : 0216415
口座名義 : 国際公共経済学会

3. 今後の主な学会行事予定

- ・ 2023年12月開催予定 第38回研究大会について

日程：2023年12月

会場：iU（情報経営イノベーション専門職大学）

実行委員長：中村伊知哉（iU（情報経営イノベーション専門職大学））

大会テーマ：検討中

- ・ INTERNATIONAL SYMPOSIUM

日時：2023年5月22日～23日

会場：Thessaloniki, Greece

テーマ：“FACING THE (G)LOCAL EMERGENCIES:

Ensuring the supply of vital goods and services through the social economy and state-owned enterprises”

- ・ 第9回 CIRIEC International Research Conference on Social Economy

日時：2023年7月4日～6日

会場：Seoul, Republic of Korea

テーマ：“Building forward better: Social and solidarity economy for a peaceful and fair world”

☆学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、ご参照ください。

☆学会への連絡は、メール（office@ciriec.jp）か郵便にてお願いいたします。

国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
著書(単独)の場合執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
著書(複数)の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
論文の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名』、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出:事務局に郵送またはメールにて送付
学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。
返信のない方は、事務局までお問い合わせください。

学会賞規定、および執筆要領

修士論文賞規定

- 1(目的)国際公共経済に関する大学院修士課程修士論文等を顕彰し、修士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会修士論文賞を設け、優秀なる修士論文等を審査選定してこれに賞を授与し、その業績を顕彰する。なお、「修士論文等」および「修士課程在籍者に準ずる者」の詳細については、理事会で決定する。
- 2(表彰)受賞は毎年4点以内とする。受賞者には、毎年3月に開催される「春季大会」での報告と、論文の学会誌掲載が認められ、優秀賞の賞状を授与する。さらにそのうち1点を、最優秀賞とし、賞状と記念品を授与する。
- 3(論文の応募資格)当該年度修士論文等の提出予定者
なお、修士論文賞応募者については、学会員であることは不要とするが、「学会員である指導教官の推薦書」を必要とする。
- 4(応募論文)応募論文は、修士論文を12,000字以内にまとめたフルペーパーとする。
- 5(公募)本賞は、毎年1月に公募を開始し、2月10日に締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。
- 6(審査)審査委員会は、応募論文を審査し、3月1日までに4点以内の受賞作を決定し、発表する。また、この受賞作の春季大会での報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して最優秀賞を決定する。
- 7(報告)研究会において審査委員長は、審査の経過を報告して、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。